

# Survey of COVID-19 Disease Among Orthopaedic Surgeons in Wuhan, People's Republic of China

Xiaodong Guo, et al.

(J Bone Joint Surg Am. 2020 Apr 8;e20.0417. doi: 10.2106/JBJS.20.00417)

## 中国武漢での整形外科医の COVID-19 感染調査

### <Abstract>

**Background:** コロナウイルス感染症 (COVID-19) は中国武漢で発生し、現在世界中で大流行している。武漢では複数の整形外科医が COVID-19 に感染した。

**Conclusions:**

Orthopaedic surgeons are at risk during the COVID-19 pandemic. Common places of work could be contaminated. Orthopaedic surgeons have to be more vigilant and take more precautions to avoid infection with COVID-19.

**Methods:** 我々は武漢で COVID-19 に感染した整形外科医の実体を明らかにするために調査を実施した。自己記入式質問書により社会的人口統計指標や臨床症状、接触歴、アウトブレイクの認知、病院であらかじめ受けた感染防護や個人防護のトレーニングなどの情報を収集した。個人のリスク因子をより明らかにするために、非感染医師との 1:2 マッチングで分析を行った。**Results:** 武漢の 8 病院から 26 名の COVID-19 に感染した整形外科医を特定した。各病院の発生率は 1.5% から 20.7% であった。発症は 2020 年 1 月 13 日から 2 月 5 日でピークは 1 月 23 日と一般公衆でのピークより 8 日前にピークがあった。感染が疑われた場所は病棟 (79.2%)、病院の共用部分 (20.8%)、手術室 (12.5%)、ICU (4.2%)、外来 (4.2%) であった。これらの医師から他人への感染は 25% に見られ、内訳は家族 (20.8%)、同僚 (4.2%)、患者 (4.2%)、友人 (4.2%) であった。防護法について早期にトレーニングを受けることは感染防御に有効であることが示された (オッズ比 0.12)。N95 マスクをつけないことは危険因子であった (オッズ比 5.20, 95%信頼区間 1.09~25.00)。常時 N95 あるいはサージカルマスクを装着していることは有効であった (オッズ比 0.15)。激しい疲労は COVID-19 感染の危険因子であった (オッズ比 4, 95%信頼区間 1~16)。

**Conclusions:** COVID-19 が大流行している間は、整形外科医も感染リスクがある。病院の共用の場所は汚染されている可能性がある。整形外科医は COVID-19 の感染を避けるためにより用心深く警戒しなければいけない。

(文責: 青森県立中央病院 整形外科 伊藤淳二)